

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

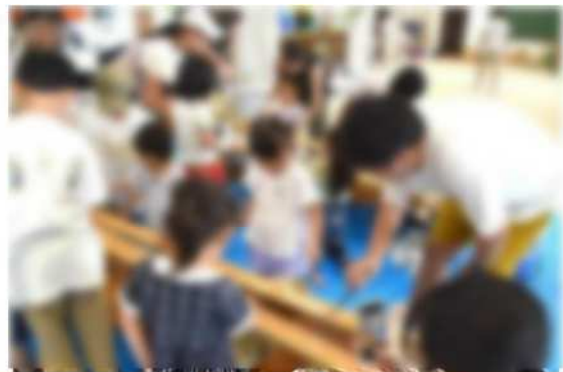
団体名	ふれあい広場推進会議
-----	------------

取組の名称	親と子のふれあい広場
実施場所	かわさき生活クラブ生協高津センター3階大会議室 川崎市宮前区宮崎2丁目1-1
対象地域	宮崎台周辺地域（高津区・宮前区） （宮前区宮崎2丁目は、高津区と隣接しているため、双方の地域の親子へ呼びかけている）
対象地域の特色・課題	子育て世代が多い地域。核家族や、転勤などで住み始めたばかりで孤立した子育てをしている世帯が多い。さらに、共働きで産休育休期間に地域で子育て世代同士や、助けてもらいやすい多世代の知り合いを作りやすく、それらを求めているが場も少ない。コロナ禍以降、さらに地域とのつながりが希薄になりがちな特徴が強まっている模様。
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の居場所として、安心して親子や子ども同士で遊ぶことのできる環境を提供します。 ・親同士が気軽に交流し、ほっとできる場所を作ります。 ・近隣保育園との連携で、子育てに不安を抱えているお母さん達相談できる仕組みづくりを行います。 ・多世代が地域で子育て・他孫(たまご)育てする場として交流できる居場所づくりをします。
実施内容・実施スケジュール	<p>1 親と子のふれあい広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2木曜日（みんなで遊ぼう・居場所解放） <input checked="" type="checkbox"/>安全な室内で大人の目がある中で未就園児を木製のおもちゃで遊ばせながら、保護者同士がつながりを持ち、情報交換をする場の提供。アートをする会や稲わらを編む会、ママと子どもの写真を撮るちょこっと撮影会など、参加者の声から要望があり、開催。 ・毎月第4木曜日（保育士さんと遊ぼう♪企画） <input checked="" type="checkbox"/>毎月季節のテーマで歌やダンス、絵本、工作などの取り組み。11月は運動会をテーマに、12月はクリスマス会なども開催した。 <p>2 土日開催ふれあいデーを2回開催した</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>7月27日宮崎台わくわくこどもカレッジコラボ開催「作ってあそぼう♪親子で遊ぼう♪」

	<p>☑月2日「作ろう！踊ろう！食べよう！親子コンサート」</p> <p>③公式 LINE を使った企画募集、地域のおまつり・企画情報の発信、ひろば開催時の親子思い出写真の提供などを行った</p>		
参加者の年代	<p>1 未就学児と保護者</p> <p>②未就学児と兄弟と保護者</p> <p>③保護者</p> <p>④地域市民</p>	<p>定員</p> <p>(1回あたり)</p>	<p>①15組程度</p> <p>②20組程度</p> <p>③1000組程度</p> <p>④地域まつりのため定員なし</p>
実施頻度	<p>1 月2回</p> <p>②年3回程度</p> <p>2 月4回程度</p> <p>④年1回(参加できず)</p>	<p>活動日数</p> <p>(年間)</p>	<p>1 21日</p> <p>3 2日</p> <p>4 51回</p> <p>④0日</p>
スタッフ体制	<p>①②スタッフ2名/地域ボランティアスタッフ2名/保育士1名</p> <p>③運用担当ボランティア4名程度</p> <p>④別のお祭りや企画と重なるなど参加体制が整わず断念</p>		
連携する団体・連携の手法	<p>①②③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かわさき生活クラブ生協」...実施場所の提供、組合員同士のたすけあいシステムを使った産後・育児ケアの提供や地域内でのつながりをつくるサポートをしているため、スタッフが必要に応じて紹介等を行っている ・「特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ キャンディ」...保育士がスタッフとしてリトミックや手遊びの指導・相談、子育て悩みの相談、未就園児を抱えた親のつながりを作るための企画運営をしているため、情報提供と顔つなぎをしている ・「地域住民」...地域に子供の居場所を作る意義を伝え、関心ある人がスタッフとして関わり、企画、場づくりに参画している。 		

取組実施により
見込まれた効果

- ・子どもの情操教育やコミュニケーション力の発育への寄与
- ・大人のおしゃべりを楽しめる場所として居場所になっており、また子どもを室内でのびのびと遊ばせられるので、精神的な育児負担の軽減、孤育で解消に寄与している。また、一時的にスタッフが面倒を見るなど、親に子どもと離れる時間も提供することで、子育てに向き合う気持ちを回復させている
- ・地域の子育て中の親達の交流や情報交換の場により、子育ての視野を広げ、各々の子ども達にあった教育・保育環境（保育園、幼稚園、自主保育や習い事など）の選択肢が増えることにつながっている
- ・地域で子育てに関わりたい多世代と交流できる場として、ベテラン保育士からゆるい子育ての大事さなどのお話をするなどして安心感を得られる機会を提供した
- ・親子や多世代が子育てしやすいまちづくりへの入り口の場として、様々な地域の企画をお知らせし、やってみたいこと体験してみたいこと（食・農・アクティビティ等）を気軽に実践できることから幼少期の経験値を増やせた





気軽に日常の親子写真を撮ろう！
ママとベビーのための
ちょこっと撮影会

3/13(木)
10:00-12:00
ふれあい広場
3月企画
参加費:200円



※プロのカメラマンではありませんが、
一眼レフで撮影します！

A vertical poster for a photography workshop. It features a camera icon, a photo of a woman holding a baby, and text in Japanese. The event is titled 'Mom and Baby's Little Photography Session' and is scheduled for March 13th from 10:00 to 12:00 at the 'Fureai no Hiroba'. The fee is 200 yen. A note at the bottom states that professional photographers are not present, but they will use DSLR cameras.